

民俗の日本史

【法蔵館文庫】

たかとり まさお たにがわ けんいち はやし まこと

高取正男著、谷川健一・林 淳解説

▼文庫判・並製カバー・368頁・定価一、五四〇円

2024年1月刊行



文明化による恩恵だけでなく、それによって生じた土着側の危機をも捉えることで、文化史学の抜本的な見直しを志した野心的論考を収録。

【目次】

I
大陸文化の受容
御霊会と志多良神 京都の歴史と民俗1
貴族の信仰生活 京都の歴史と民俗2
聖と芸能 京都の歴史と民俗3
今様の世界 京都の歴史と民俗4
神仏習合―比叡山と園城寺―

II
米作りの幻想
地域差
畿内の境域神
近代が崩壊させた重層社会
日本文化と民俗学
暮らしの中の文化財
解説(谷川健一)
文庫版解説(林 淳)

◆著者・解説者略歴

高取正男(たかとり まさお)

一九二六年愛知県に生まれる。京都大学文学部史学科卒。京都女子大学教授などを務める。専門は日本文化史・民俗学。一九八一年没。
主な著書に『仏教土着』(日本放送出版協会)、『日本的思考の原型』(講談社現代新書)のち、平凡社ライブラリー、ちくま学芸文庫)、『神道の成立』(平凡社選書)のち、平凡社ライブラリー)、『民間信仰史の研究』(高取正男著作集)全5巻(以上、法蔵館)などがある。

谷川健一(たにがわ けんいち)

一九二一年熊本県生まれ。東京大学文学部卒業。民俗学者。文筆家。歌人。平凡社において雑誌『太陽』創刊編集長を務めたのち、文筆活動に入る。日本地名研究所初代所長。文化功労者。二〇一三年没。
著書に『魔の系譜』『常世論』『南島文学発生論』など多数。

林 淳(はやし まこと)

一九五三年生まれ。東京大学人文科学研究所博士課程単位取得満期退学。博士(文学・宗教学)。専門は宗教学・日本宗教史。愛知学院大学文学部教授を経て、現在同大学文学部客員教授。
主な著書に『近世陰陽道の研究』(吉川弘文館)、『天文方と陰陽道』(渋川春海)『失われた暦を求めて』(いづれも山川出版社)、『編纂』、『ブグダの変貌―交錯する近代仏教―』(吉田久一とその時代―仏教史と社会事業史の探求―) (いづれも法蔵館)などがある。

注文書	書店印
ご担当	様冊
高取正男著・谷川健一、林 淳解説	法蔵館
ISBN: 978-4-8318-2658-9 C1121	定価 一、五四〇円
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

民俗・日本史